

みんなの広場



人にも地球にも

優しくなろう！

向陽小学校

向陽小学校は、旧石巻市時代の昭和47年、当時の児童数602人が通つ市内19番目の小学校として開校しました。学校のある蛇田地区は、近年、大型商業施設などの進出が顕著で、急速に発展を遂げています。

4月に新1年生を迎えた現在の児童数は47人で、開校当時から2割ほど減少していますが、それでも市内では指折りの児童数の多さです。

向陽小学校では、子ども達の発達段階に応じて、「人に優しい福祉と環境の学習」に力をいれています。学年ごとの具体的な学習内容をちよつとのぞいてみるこ...

3年生：NPO法人いしのまき環境ネットの方や知的障害者通所授産施設の方々と協力し、石鹸作りや植物栽培の体験を通して、地球温暖化の要因について理解を深め、その防止について学習しています。

4年生：広域クリーンセンターやリサイクル会社を見学し、EM(有用微生物群)について調べながら、ごみの安全な処理や生かし方などを学習しています。



5年生の学習の様子

5年生：地域の方々や協力しながら、アルミプルタブリサイクル活動を進めているほか、



3年生の学習の様子

福祉施設を訪問し、自分達のできる福祉について体験を通して考えています。また、食育の分野においても、地場産食材を使った調理実習を行い、栄養バランスを考えた食事の大切さを学んでいます。

6年生：これまでの学習から興味を感じた石巻の問題を、子ども達一人ひとりが探求し、発表会を開催します。食の問題をテーマにした発表では、問題提起と同時に、子ども達自ら、製造会社から仕入れた商品を販売し、身近に口にしてある食品などが、どのようにして作られるのかを体験し学びます。今後はこの発表を、校内にとどめず、社会へ提案していく予定です。

向陽小っ子達がこの学習で得た「人にも地球にも優しくなる心を持つ」ことは、私達がこの地球上で生活していく上で、一番大切にしなければならぬことかもしれません。

にぎやか家族 ④⑧

桃生地区中津山



左から、裕妃ちゃん、愛理さん、春美さん、咲月ちゃん

若山 愛理さん (14歳) 画家
 春美さん (12歳) 美容師
 咲月ちゃん (9歳) パン屋さん
 裕妃ちゃん (6歳) 花屋さん

<両親から>
 健康に気をつけて、このまま育てほしいです。

今月の表紙から

今回は、今年3月に東北農政局地産地消費良活動表彰で東北農政局長賞を受賞し、平成20年1月には「農林漁家民宿おかあさん100選」に選ばれた民宿「のんびり村」の坂下さんを取材しました。

「のんびり村」は自然がいっぱいの河北尾の崎地区を知ってもらい、のんびり過ごしてもらおうと、長面浦に面した自宅の築150年の蔵を改装して、平成5年6月に農漁家レストランを開業しました。その後、平成12年に農漁村の暮らしを体験できる県内第1号となる農林漁家民宿となりました。

地元でとれる旬の新鮮な魚介類が中心で、四季を通じた豊かな食材は宿泊客に好評です。特に味が良いにも関わらず、商品価値がないとして浜では捨てられていた「トラツメガニ」をメニューの柱としています。また、刺し網漁の体験などができるのも喜ばれています。坂下さんは「私も夫も、これまでずっと走り続けてきたので、これからは『少し休んで、

少しがんばる』という気持ちで、身体に正直に、まわりに気遣いを忘れず、楽しみながらのんびりやっていきたいですね。また、これからも子ども達へ地産地消の大切さを伝えていくことと障害者の方と一緒に活動する機会を持っていきたい」と話していました。

1階の食堂には、芸能人などの色紙がありました。坂下さんの一番のお気に入り、交流のある福祉作業所かしわホールの皆さんから温まる色紙のようです。



坂下 清子さん (河北尾の崎地区)

サークル仲間

なかま
④1

特色ある音色に

魅せられて

大正琴 夢サウンドサークル(河南地区)

大正琴夢サウンドサークルは、生涯、チャレンジ精神を失うことなく、生き生きと大正琴を楽しむことを目標に、発表会での演奏やボランティア活動に取り組んでいます。

会員は、現在11人で、遊楽館を会場に毎週金曜日、約2時間、和やかな雰囲気練習をしています。

平成6年に、涌谷町の会員を含むおよそ20人で発足しました。発足から15年がたち、今ではその活動実績と実力から、県内各地の文化まつりへ招待されたり、東北各県の大正琴大会へ参加するなどますます盛んに活動しています。

大正琴とは、大正元年、二弦琴をもとに、タイプライターにヒントを得て発明されました。従来の日本の琴の弦が絹製であるのに対して、金属製の弦が使われています。キーの配列はピアノの鍵盤と同様で、演奏しやすいことから家庭用楽器として大正時代に大流行したそうです。

会員の中には、およそ週2回、年間では100回ほど石巻圏を中心に福祉施設などを訪れて、ボランティア



活動をしている方もいます。季節や訪問先にあつた選曲をするため、童謡、民謡から歌謡曲まで、その幅広いレパートリーは100曲を超え、活動範囲の広さを物語るようです。

取材に訪れた時には、真剣なまなざしで見つめる大正琴のそばに、お茶菓子が……。練習の合間のおしゃべりも、楽しみの一つであり、活力の源のようです。

長寿のひけつ



③4

趣味に生かされて

小竹 藤乃さん(北上町大室) 87歳

今回は、いつも前向きでいたいと願っている小竹藤乃さんをご紹介します。

小竹さんは、戦時中の混乱期に、山形市立済生館病院の看護婦を経て、地域住民の健康管理に関わるようになりました。無医村だった昭和38年、橋浦診療所開設と同時に看護婦長として医療に携わり、その功績が認められ、昭和60年には、黄綬褒章を受賞されました。

「無我夢中で生きてきたあの時代を、とても懐かしく思います。今は、朝起きて、お茶と新聞を仏壇に供えて一日が始まり、自分のペースで生活している」と話していました。

ゆっくり新聞を読んで、気になった記事をスクラップするのが日課になっています。

小竹さんの趣味は、歌や踊りで、平成11年から始めた大正琴に夢中になっています。あの音色が心を癒やし、老化防止にもなるそうです。

「毎日の生活の中で、思いやりをもって生きることが、大事なことだと思うよ」と話してくれました。

いつまでも生き生きと元気でいてください。

